

平成30年度東北地方整備局コンプライアンス・アドバイザリー委員会  
議 事 概 要

1. 開催日時： 平成31年 3月18日(月) 14:00～15:45

2. 開催場所： 東北地方整備局 大会議室

3. 出席委員： 委員長 浦井 義光 弁護士  
委員 飛田 善雄 東北学院大学教授  
委員 赤石 雅英 公認会計士・税理士

4. 議 事

- (1) 平成30年度 東北地方整備局コンプライアンス報告書(案)について
- (2) 平成31年度～33年度 東北地方整備局コンプライアンス推進計画(案)について
- (3) 意見交換

5. 各委員からの意見・質問等

【意見】

・「報・連・相のお・ひ・た・し」は良い取り組みだと思うが、部下に対して、感謝の言葉を伝えることを、是非加えていただきたい。

・TV会議システムを利用した外部講師による講話を広く配信することは、今後も積極的に取り組んで頂きたい。但し、その際、受け手の事務所側において、しっかりとしたコーディネーターを置くなどして、会議の統率を図ることを考慮されたい。

・消耗品の管理について、シール等を貼るだけでも、予防的な効果がある。

・不祥事を未然に防ぐためには、普段から職員の様子を見て変化に気づくこと、声かけをすることが重要である。

【質疑応答】

◆Q1 物品の適正な管理の徹底について、特に新たに取り組んでいくのか。

A1 具体的な取組は今後の検討となるが、今決まっていることをもう一度しっかりやっていくことと考えている。

◆Q2 ハラスメント等、予期せぬ不祥事が発生した際に、幹部が不在であった場合の対応方法は構築されているか、また、定期的にチェックされているのか。

A2 事案が発生した場合の対応フローを作成しており、定期的に確認している。事案が発生し、幹部が不在であった場合は、携帯電話等で連絡を取る。万が一連絡が取れない場合は、その段階での対処で対応していく。

6. 整備局からの発言

不祥事を未然に防ぐには、普段から職員の様子を見て、変化に気づくこと、そして、職員への声かけが重要なことなど、非常に有意義な御意見をいただいた。

今日の御意見を踏まえて、組織全体の信頼性の向上のみならず、職員自身

が自らと家族を守るためにも、引き続きコンプライアンスの意識を高めるよう取り組んでいきたいと考えているので、今後ともご指導の程よろしく願いしたい。